

1

無理やりPTAの役員を押しつけられる。

忘年会や同窓会の幹事、イベントの司会役が好きで好きでたまらない人がいる。

「やっぱりあなたしかいないのよ。お願い、引き受けて」と頼まれると、「やアねえ」と言いながら内心フーフフとうれいのだ。

あなたはその正反対。

表立ったことは善手だ。裏方のほうが気がラクで内気な自分に合うと思っている。先週PTAの集まりの日、あなたは親戚に不幸があり欠席した。

すると翌日、役員からメールがきた。

あなたが次の役員に選ばれたのでよろしく、という内容だった。

早速あなたは役員に連絡を取り、「私には無理だわ。皆さんに迷惑をかけるだけで、他の方にお願いで」と辞退した。

「ダメダメ。全員一致で決まったんだから」と役員。取りあつてくれない。

メラメラ！

「だって私、口下手だし……経験もないし。どなたかもつとふさわしい方に、お願いしてよ」とあなた。

けれど相手は厭しい口調で、あなたの困惑にはおかまひなく用件だけを伝達する。

「引き継ぎの書類は郵使します。どうぞよろしくお願いいたします」と役員。

そこまで事務的に突っぱねられると、子どもの親としても無責任に「ノー」とは言えなくなる。「承知しました」とあなた。

それにしてもどうして私が？ と割り切れない気持ちが残る。自信がないから断ったのに、自信がないからスッパリ断り切れなかったのだ。自信がないって情けないことなんだとあらためて悩む。

夫と子どもたちに相談した。全員が「やってみれば？」と応援ムード。

もう、やるしかないのか。

そう、やるしかないのだ。

PTAの役員を引き受けることであなたは自信をつけ、言い返す力を身につけよう。

あなたは、これまで表立ったことは避けて裏方にまわってきたのは、自分の性格が内気だからだと思っ込んでいる。